



Change! 2022 推進委員会 2022. 7. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「 会員増強・クラブ作りのノウハウ 」

東日本区理事

佐藤 重良 (甲府21)



この度、東日本区(2022-23年度)理事を拝命させていただきました。甲府21の佐藤重良です。

会員増強のため、「Change! 2022」の活動の御奉仕に感謝申し上げます。現状、会員増強しなければ

ならない事は、すべての会員が承知されていると思います。会員増強の方法論も、多くの皆さんからの提案があります。アンケートも取り、分析もされております。結果は、「ワイズの存続を望む」・「ワイズは楽しい場所」・「もっと広げるべき」・「奉仕活動もやりがいがある」・「もっと楽しんでやりたい」との意見が多くあります。

私は、2014年12月(7年半前)に入会させていただきました。ある強力なキーマン(チャーターメンバー)に誘われての入会です。私は、キリスト教の事、ワイズの事、YMCAの事等、全く知らない世界でした。お誘いされたので、「長年仕事人間でしたので、ボランティア活動することも良いかな」と、気楽に考えて入会させていただきました。きっかけは、声をかけてくださったから入会できたので、声掛けが無ければ、入会はしていなかったでしょう。

入会させていただいたから、新しい人間関係が広がり、私の経験したことのない職業人が仲間となったので、自分のためになることが多く、大切な財産が増えたように思っています。YMCAの子供たちが、生き活きと遊び、学習し、キャンプ・スキー教室で日々生き生きと活動している姿は、ワイズに入会していなければ経験することは無かったです。入会を勧めてくれた会員(キーマン)に感謝しています。

例会では、会員・ゲスト等、いろいろな卓話が聞ける、新しい知識が取得できる。ワイズに入会してのメリットが多くあり、人生が豊かになっている。

入会時(7年半前)メンバーは16名だったが、現在37名増員されて、53名であります。

増員できた理由は、

- 1 日頃のCS・Yサ活動計画、実施は、しっかり活動することを基本としている事
- 2 積極的な声掛けをした事
- ① チャーターメンバー(キーマン)が、新しい人を例会にお誘い、入会を促す(仕事関係者に声掛け)
- ② 入会した新人が、自分の友人知人に声掛けして、入会を促進したこと(新人の仕事関係)
- ③ 新人に女性会員が入会したこと。その女性会員が友人・知人をお誘いして入会をお勧めした(新人女性会員の友人・知人・仕事関係)

この、お誘い上昇スパイラルの連鎖で、増員されています。

次の入会者が、ワイズの良さが分かれば、次の次の新しい人を誘ってくれる。ワイズが社会貢献を自然体で活動していれば、周りの人がワイズを認め、入会者も自然と増えると思います。

甲府クラブは、10年ごとの周年前後に、新しいクラブを設立、支援している。松本・甲府21・富士五湖・長野、今まで4クラブを設立支援してきた。今年も9月には甲府やまなみクラブを立ち上げることが決定しています。

「Change! 2022 ニュース 18号」に、クラブ造りの名人・甲府クラブの故平原貞美さんの戦略が掲載されております。以下は戦略的手法の手順です。

- イ クラブの立地条件の検討
- ロ 地域のマーケティング
- ハ 名簿造り
- ニ 望ましい会員構成
- ホ YMCA とのかかわり調査・元会員の名簿作成
- ヘ 訪問の計画作成・訪問、例会への誘いとあります。

会員増強の秘訣が、ぎっしり詰まっていますので、参考にして、会員増強活動をしましょう。

私は、会員増強を今年の最重要課題として取り組みたいと考えております。特に、各地域 YMCA と協働で取り組み、ともに力を合わせ、会員増強を推進しましょう。

《 佐藤 重良さんのプロフィール 》

1941年10月12日	秋田県大館市生まれ
2014年12月	甲府21クラブ入会
2017 - 2018年	クラブ会長
2019 - 2020年	クラブ監事
2021 - 2022年	東日本区次期理事、区事務所人事委員長、Change! 2022推進委員、ワイズYMCAパートナーシップ検討委員
2022 - 2023年	東日本区理事

▼ ワイズ・ナイトフォーラム

「第6回 ワイズ・ナイトフォーラム 報告」

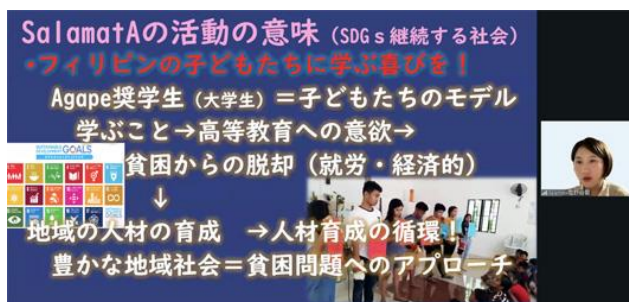
Change! 2022 推進委員

石田 孝次 (東京多摩みなみ)



6月25日(土)の20時から、前年度最終回となる「第6回ワイズ・ナイトフォーラム」が、Zoomで開催されました。50名近い参加者が、画面に集ってくれました。

第一部は、所沢 YMCA が、以前から活動を支援してきた NPO 法人の SalamatA & Philippines による『ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海をこえて届ける!』と題して講演がありました。



【SalamatA の塩野谷愛さんによる活動紹介の一コマ】

この団体は、Y's ユースアクションで助成の対象となり、この機会にコロナ禍で現地での活動が制限される中で、現在も継続的に支援活動に取り組んでいるフィリピンの

子供たちに向けた教科書作りや、イラストの制作の詳細をご披露いただきました。そして、この活動が、ワイズのユースアクション・プログラムと連動する形で進められ、ともに支えて行く活動の代表としてみなさんに紹介され、その活動を知る貴重な機会となりました。

そして第2部は、東京多摩みなみクラブが主催したチャリティー事業として『オンライン・プランター講座について〜コロナ禍で生まれた地域奉仕事業〜』の内容紹介とパネルディスカッションがありました。

Part1 は、プランター講座の内容の説明と地域奉仕の関係。野菜を育てる傍ら、講座に参加しながら参加費の一部が、奉仕活動で頑張っている東京 YMCA や地元の NPO 団体への寄付金として活かされるチャリティー講座の仕組み。

Part2 は、参加者のアンケートの取りまとめ報告と講師・藤田智さんからの臨場感あるビデオメッセージ。

Part3 は、クラブメンバーによる Q&A 方式のパネルディスカッションでした。

野菜作りを通じたコミュニケーションの場



【東京多摩みなみクラブのオンライン・プランター講座】

何とか無事大役を終えることができましたが、司会進行役の私は、皆さんの様子を確認する余裕もなかったのですが、Zoom参加者の数名からメールやFBで、内容が分かりやすく、非常によかったとのお言葉をいただきました。一般参加したIさんのご主人も一緒にZoomを見ていて、ワイズ活動の素晴らしさに感動されていた、と知らせてくれた東京八王子クラブのKさんの報によれば、Iさんのご主人と親しい間柄にある町田スマイリングクラブのTさんを画面上で発見できたとのこと。リモートから参加してくれた長野クラブのMさんからは、次回第4回の秋季プランター講座に友人と一緒に参加したいとか、「ちむどんどん」するようなメッセージが届きました。

8月2日(火)開催予定の3クラブ合同例会(東京町田モスモス・東京多摩みなみ・東京町田スマイリング)では、Tさんの在日スリランカ人の友人にお願いし、例会会場のベルブ永山の調理室を使ってカレーパーティーを行い、広義会員にも声掛けし、KさんとIさんご夫妻も誘って、みんなで楽しめたらいいなど、今から想像を膨らませています。

▼ Change! 2022 推進委員会の歩みと今後

Change! 2022 推進委員会

委員長 栗本 治郎 (熱海)



会員増強の機運を高めるため毎月発行している『Change! 2022 ニュース』は、今回で 37 号になります。会員増強だけでなく、クラブ運営の参考、ヒントになるであろうことが多く掲載されています。また、アクションプランの中で、SNS の活用による外向きの広報として Facebook の導入を奨励し、ワイズの知名度の向上を図りましたが、技術的に活用が難しいクラブが多くあるようです。

課題である会員の高齢化、知名度の低さと共に、コロナ禍の影響が大きく、残念ながら会員の減少が続いています。

◀ 2021-2022年度の取り組み ▶

▼ 『動画で分かるワイズメンズクラブ』カード

7月にスマホによるワイズ紹介サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードを作成し、各クラブに100枚配布しました。QRコードを活用したスマホ専用のワイズを知っていただくためのツールとして期待しています。

新入会員獲得最優秀賞(6名)を受賞した甲府21クラブは、QRコードのアクセス数は133回でした。カード導入後1年経過しましたが、活用が出来ていないクラブが多くあるように思えます。

今期、さらに分かり易く効果的なものに修正し、バージョンアップを図ります。積極的な活用をお願いします。

▼ 『ワイズ・ナイトフォーラム』開催

コロナ禍の折、人と人との接触の制約がある中での活動を模索し、オンライン(Zoom)による『ワイズ・ナイトフォーラム』を計6回開催いたしました。フォーラムで共通の時間を持つことで、新たな交流が生まれるとの思いで企画しました。

第1部では、身近でタイムリーなテーマの卓話をお願いしました。

第2部では、各クラブの主な奉仕活動をパネルディスカッションの形式で紹介していただきました。

第1回 2021年9月19日(日) 参加者70人

卓話:藤田智(東京多摩みなみ)

パネルディスカッション(P.D):カンボジアに園児服を送る活動

第2回 2021年10月21日(日) 参加者75人

卓話:利根川恵子(川越)

P.D:チミケップキャンプ場の活動

第3回 2021年11月21日(日) 参加者85人

卓話:西村隆夫(元国際書記長)

P.D:ワイズ青少年事業活動の魅力

第4回 2022年2月26日(土) 参加者73人

卓話:山田公平(宇都宮) P.D:あずさ部のCS活動

第5回 2022年4月16日(土) 参加者68人

卓話:江夏一彰(東京武蔵野多摩)

P.D:北東部のCS活動

第6回 2022年6月25日(土) 参加者47人

卓話:NPO 法人 SalamatA & Philippines

P.D:オンライン・プランター講座について



【第4回、あずさ部のCS活動:東京サンライズクラブ】

▼ 新クラブ誕生

(仮)甲府やまなみワイズメンズクラブの設立総会が、甲府クラブがスポンサーとなり、6月11日に開催されました。設立経過報告の中で、Change! 2022 のアクションプランの提案に賛同したとのお話がありました。なお、チャーターナイトは、9月3日に予定されています。

◀ 2022-2023年度の取り組み ▶

▼ YMCA・ワイズのパートナーシップ

標記のパートナーシップをより図るために、各YMCAの機関誌にワイズコーナーを設けて頂き、ワイズの情報を掲載していただくこと。また、ワイズのポスターや入会案内をYMCAの施設に置いていただき、より関係を深めていきたいと思います。



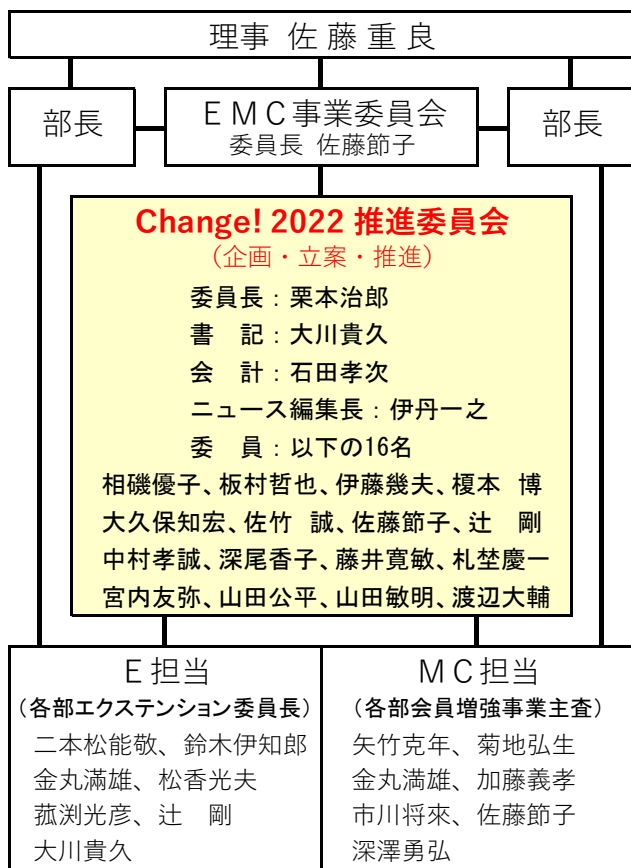
【YMCAに置くワイズ紹介POP案】

▼ 7月はChange! 2022の強調月間です。

クラブの5年10年先を見据え、一人一人が真剣に新

会員の獲得に取り組むことが必要です。親睦と奉仕、楽しいワイズライフこそ会員増強に繋がります。ラストスパートをお願いします。

▼ 2022年7月からの Change! 2022 組織図



▼ 動画で分かるワイズ紹介カード

「今年度からサイトをリニューアル」

直前広報・伝達(PR)専任委員

佐竹 誠 (東京ベイサイド)



Change! 2022 では、会員増強のためのプロモーションツールとして、2021年7月より『動画で分かるワイズメンズクラブ』スマホサイトの運用を開始いたしました。

皆さんの努力もあり、スマホサイトへの新規訪問者数は、運用開始

から11ヶ月で1,500人となりました。

運用開始時には、ワイズメンズクラブを知らない方々に対し、ワイズメンズクラブ全体の認知を目的にサイト構成を考えてまいりましたが、2022年7月から、より身近な活動をアピールできるコーナーを作成いたしました。

スペースの関係上3つの枠にはなりますが、第一弾として下記の内容を掲載しております。

【チャリティーラン】甲府クラブ／甲府21クラブ／富士五湖クラブ

【ランタンフェスティバル】熱海クラブ

【プランター講座】東京多摩みなみクラブ

各クラブでは、YMCA との協働や青少年育成、地域貢献、地域交流など、様々なテーマで活動をしているかと思えます。クラブの活動に興味を持ち、共感してもらいやすい内容を、今後も掲載予定です。

このコーナーは定期的に更新していきますので、次はうちのクラブのこの活動をアピールしたい！ などありましたら積極的にご声掛けください。

〈記事についてのご相談→ satake@baton.jp 佐竹宛〉

最後になりますが、スマホサイトはあくまでも会員増強のためのプロモーションツールです。皆さんが楽しく活動している姿や、生き生きと語ることに勝るプロモーションは正直無いと思います。

そうした皆さんの魅力を伝える際の一助になれるよう、今後もサポートできたらと思っておりますので、地道な活動にはなりますが、引き続きQRコード入りのPRカード及び名刺の配布をし、一人でも多くの方に届けて頂きますようお願いいたします。



QRコード入りの名刺は、baton社ではいろいろなテンプレートを用意していますので、ご希望の方は同社にご発注下さい。価格：1,650円/100枚～

申込先：<https://www.baton.jp/ys-orderform-top/>

▼ 新入会員をご紹介します

直前会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

6月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	矢ヶ崎 秀樹	(甲府21)	宮岡 宏実
2.	大野 君枝	(横浜つづき)	辻 孝子
3.	遠藤 賢	(富士宮)	樋口 亨